

表 9-中 E.FORUM スタンダード (第 1 次案) : 中学校英語 (赤沢真世編集)

包括的な「本質的な問い」:

- ・英語を通して他者とのよりよいコミュニケーションを図るには、どのようにすればよいのか。(コミュニケーション能力)
- ・英語(外国語)や異文化を学ぶことの意味や魅力とは何か。(言語理解、異文化理解)

領域	読むこと (Reading)	聞くこと (Listening)	
領域の本質的問い	書かれたものの主張や思いを(概要、あるいは詳細を)効果的に読み取り、理解するにはどうしたらよいのか。	話された内容を適切に聞きとり、それに応じられるようにするにはどうしたらよいのか。	
レベル 1	本質的問い	英語で書かれた単文の意味を 把握する にはどうしたらよいのか。	身近な生活場面において英語で話された文の意味を理解するにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	身近な名詞をとらえることを中心に 英語の主述の関係 をつかむことが重要である。	強く聞こえた単語(動詞や目的語)や文全体のイントネーション(上がり口調なら疑問文)などに注目し、ジェスチャーや写真などを手がかりに意味を推測していけばよい。
	課題例	「親しんでいる絵本を読んでみよう」 『The Hungry Caterpillar』の絵本をグループで分担して読み合わせをしよう。また、文を参考に、オリジナルな食べ物を入れて、新しい 1 ページを作ってみよう。	「オーストラリアの子どもの学校生活の様子を聞いてみよう」 オーストラリアの中学校 1 年生の平日のスケジュールを聞いて、表を完成させよう(教科書のリスニング問題を想定)。さらに ALT の先生の中学生時代のスケジュールや友達スケジュールを聞いて、自分の一日との違いを見つけ、発表しよう。
レベル 2	本質的問い	平易な文章(単文から構成される小さなまとまりの文章)で書かれた内容の 趣旨・要旨 を理解するにはどうしたらよいのか。	質問や依頼などのごく短いまとまりの文を聞いて、 正しく聞き取り、適切に応じる にはどうしたらよいのか。
	永続的理解	前から順に 主述の関係 を捉えながら読んでいく。その際には キーワードとなる語句 、必要な情報をもとに内容の全体像を把握していくことが重要である。	英語の 発音・抑揚の特徴 を踏まえ、強く大きく話されるキーワードを メモする などして、それらをもとに類推していく。分からない箇所があれば話し手に聞き返したり、何度も聞いたりする。
	課題例	「きよこの夜」の朗読 「きよこの夜」の物語を、登場人物の心情が表れるように朗読してください ¹⁾ 。(田中容子先生、中谷志穂理先生)	「ラジオ番組を聞き取ろう」 あなたは外出中のホストファミリーのお母さんに代わって、お母さんが大好きな DJ のラジオ番組を聞いています。DJ が話すことをよく聞いて、お母さんにあとでどんな話をしていたか伝えられるようにメモを取りましょう ²⁾ 。
レベル 3	本質的問い	主として単文で構成され、簡単な複文構造も持つ物語文や平易な説明文において、話の内容や書き手の意向 を理解し、適切に応じたりするにはどうしたらよいのか。	短いまとまり(5文程度)の話や会話 を聞いて話し手の意図や内容の概要を聞き取るにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	書かれている表面上の意味だけではなく、文の主述をしっかりと押さえるとともに、 指示代名詞や感情のこもった語句や表現等 に注目して、文のつながりや文脈を意識することが重要である。	強く発話されたり、繰り返して登場するキーワードから全体像を把握したり、 事実や数値など具体的な情報 に注意して聞くことが大切である。
	課題例	「絵本の読み聞かせをしよう」 あなたたち二人は図書館でボランティアをしています。来館した子供たちに英語の絵本を読んであげることになりました。「The Fall of Freddie the Leaf」を、内容がよく伝わるように、声に出して読んであげてください ³⁾ 。 (田中容子先生、中谷志穂理先生)	「『世界の中の日本』というテーマで英語でクイズを作ろう」 まず、英語のニュースから、日本の特徴(生産物が世界で何位かなど)を聞き取ろう。次に、協同学習の手法を利用しつつ、小集団で協力してクイズを作り、仕事を分担して発表しよう。クイズの文では比較級か最上級を使うこと ⁴⁾ 。 (高木浩志先生)

¹ 田中容子、中谷志穂理「事例 5 パフォーマンス評価を通じて学習への意欲を育てる」田中耕治編『パフォーマンス評価——思考力・判断力・表現力を育む授業づくり』ぎょうせい、2011年、170頁。

² 東京書籍「New Horizon 1」Listening Plus 5 (111頁)「休暇中の出来事」を参考。

³ 田中容子、中谷志穂理、前掲書、169-173頁。

⁴ 高木浩志『中学英語教師のための小学校英語実践への対応ハンドブック』明治図書、2010年、24頁。

領域	話すこと		書くこと
領域の本質的問い	【情報のやりとり】 対話したり問答するにはどうしたらよいのか。	【表現】 自分の考えや気持ち等を伝えるにはどうしたらよいのか。	情報や自分の考え・思い等を書くことによって伝えるにはどうしたらよいのか。
レベル1	本質的問い	英語で聞かれたことに 答える にはどうしたらよいのか。	自分のことや身近なことを相手に伝えるように書くにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	聞き取れた単語や身振り手振りから相手の思いを 推測し、知っている単語や身振り手振りを 用いて表現することが重要である。	聞いたり読んだりしたことについてメモをとり、それを踏まえて書く。 知っている簡単な単語や表現を効果的に選んで表現 することが大切である。
	課題例	「ハンバーガーショップ」 あなたはハンバーガーショップの店員さん（お客さん）です。ハンバーガーショップの店員さんは元氣よく、スムーズにお客さんの注文を取り、お客さんは買いたいものをしっかりと伝えましょう ⁵ 。（田中容子先生、中谷志徳理先生）	「絵葉書を書こう」 あなたは冬休み中の旅行先から英語担当の先生に絵葉書を書きます。いつ、今どこにいるのか、その場所がどんな天気か、どのようなことをしたか（しているか）が読む人にわかるように書いてください ⁶ 。（田中容子先生、中谷志徳理先生）
レベル2	本質的問い	対話を続けていく ためにはどうすればよいのか。	身近な出来事や体験 を日記に書いたり、手紙メッセージなどで相手に伝えるにはどうしたらよいのか。
	永続的理解	相づちや聞き返し をし、自ら積極的に対話を作り発展させていくことが必要である。また、 質問は内容に関連して行う 。	既習語を用いて、出来事や体験に関する事柄について具体例を豊富に入れ、 できるだけ詳しく表現 することが大切である。さらに、自分の 思いや感情も 含めると効果的である。
	課題例	「先生にインタビューして先生紹介掲示物をつくらう」 新学期に新入生を迎えるために先生の紹介を英語で作成し、掲示したいと思えます。英語でインタビューをして見て読んで楽しく、どんな先生なのかよくわかる掲示物をつくりましょう ⁷ 。（条件：すべて英語、A4判） （中村国広先生）	「自己紹介、友達紹介をしよう」 もうすぐ授業参観があります。参観に来られる保護者のみなさんにあなたが中学校に入ってどのような友達ができ、どんな風に過ごしているかをしっかりと伝えるために、友達紹介の文を書きましょう。あなたの友達は何かクラブに入っていて、どんなことが好きかなどをわかりやすく書き、その友達のことをあなたがどう思っているかも書いてください ⁸ 。（西田めぐみ先生）
レベル3	本質的問い	場面や相手に応じて どのように英語で表現をしたらよいのか。	相手に必要な 情報をわかりやすく書いて伝える にはどうしたらよいのか。
	永続的理解	場面に応じて独特の表現 を用いたり、相手の立場等により 丁寧な表現 を用いたりすることが重要である。そして 重要な部分を強調 して伝えたり、復唱して確認することが必要である。	文章を構成するときには、 語と語のつながり （正しい文構造や語法）や、接続詞を用いて 文と文のつながり を意識して書くことが必要である。また、読み手を意識して情報を選択することが必要である。
	課題例	「自分の考えを発表する」 あなたは今ホームステイにしています。そこで通っている学校の英語の授業で、提示されたテーマについて自分の考えを発表するという課題が出ました。あなたはクラスの前で自分の考えを発表しなければなりません。自分の意見をはっきり述べるとともに、その理由を具体例とともに述べ、論理的にまとめた原稿をつくり発表してください。また、授業で学んだ表現をできるだけ使うこと。 （森千映子先生）	「This is me」 あなたが進もうとしている高校にあなた自身のことを伝えるために自己 PR 文を書きましょう。現在完了形を使って今まで経験したことを述べたり、It ~for~ to や how to などを用いたりして、自分の特技をできるだけ沢山書きましょう。また、自由にテーマを決めて、あなたが普段からどのようなことを考え、どのような価値観を持っているのかがわかるような文章を書き、あなたの良いところを読む人にしっかりとアピールしましょう ⁹ 。（西田めぐみ先生）

⁵ 田中容子、中谷志徳理、前掲書、2011年、170頁。

⁶ 同上。

⁷ 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 『「スタンダード作り」基礎資料集』（以下、『基礎資料集』と示す）2010年、231-235頁。

⁸ 『基礎資料集』243頁。

⁹ 『基礎資料集』220-221頁。

¹⁰ 植田則康「ルーブリックを用いた検討会によるコミュニケーション能力の育成『ディベート』」西岡加名恵・田中耕治編著『「活用する力」を育てる授業と評価 中学校』126-138頁。伝言の内容については、生徒が自由に考えた。順番待ちをしている間に準備はできるが、メモを書いたり読んだりほしくない形で取り組ませた。

¹¹ 『基礎資料集』220-221頁。